

I 指導概要

教 科		科 目		
地歴		歴史総合	単位数： 2 単位	
指導目標：社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。				
メディア視聴	事情に応じて許可（東京書籍） ①視聴講座を 100%視聴 ②確認テストクリア	60%	教科書	『新選 歴史総合』東京書籍
スクーリング	1 単位時間×2 回	合格時間数 2 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし
回	高校通信教育講座 (単元・学習内容)	レポート (締切期日)	スクーリング (日程と内容)	
1	結びつく世界と日本の開国 1 18 世紀の東アジア 2 産業革命のはじまり 3 世界市場の形成 4 東アジア国際関係の変化と日本の開国	第 1 回 (4/30)		18 世紀における欧米列強の進出と、それに伴うアジア地域の変化を学ぶ。 また、近代社会における市民の権利や立憲制の成立について学び、民主主義の歴史を知る。 一方で帝国主義の広がり、被植民地の関係を学ぶことで、現代につながる課題を知る。
2	国民国家と明治維新 1 市民革命と近代社会 2 立憲制の広まり 3 帝国主義と植民地	第 2 回 (5/30)		
3	第一次世界大戦と大衆社会 1 第一次世界大戦 2 ソ連の成立とアメリカの繁栄 3 反植民地主義の高まりと民主主義の拡大	第 3 回 (6/30)		
4	経済危機と第二次大戦 1 世界恐慌とファシズム 2 日中戦争・第二次大戦 3 第二次大戦後の世界	第 4 回 (7/30)	第 2 回	20 世紀における 2 つの世界大戦について、その原因と背景について学ぶ。 また、現在の国際社会が構築された流れを知ることで、現代の諸課題を知る。
5	冷戦と世界経済 1 冷戦の拡大 2 経済政策と冷戦下の日本 3 先進国の経済成長と地域連携	第 5 回 (8/30)		
6	世界秩序の変容と日本 1 問い直される近現代、石油危機	第 6 回		

	2 冷戦の終結と地域紛争 3 民主化の進展とグローバル化	(9/30) 提出期限 (11/28) 提出予備日 (1/15)		
--	---------------------------------	--	--	--

2 評価の観点

知識・技能	テストの結果で評価します。
思考・判断・表現	レポートの最終問題で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	スクーリング時に取り組む姿勢や、成果物で判断します。 ※メディア視聴の成果もこの観点で評価します。

3 評価の方法

上記の観点に基づき、年度末に5段階で評定を出します。 【知識・技能】テスト結果（7割） 【思考・判断・表現】レポート最終問題(2割) 【主体的な態度】スクーリングの時の成果物（1割）

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。
--